

コロナに負けるな！
元気・根気・やる気
楠橋小学校

楠橋

＝ 共 育 ＝

学校だより第36号
令和3年12月3日

北九州市立楠橋小学校
校長 戸田 堅

こころの劇場

11月30日(火)は6年1組、12月1日は6年2組が、「こころの劇場」を鑑賞しました。「こころの劇場」は、日本全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクトです。子どもたちの心に、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、生きていくうえで大事なことを、舞台を通じて語り掛けていきます。一般財団法人舞台芸術センターと劇団四季、そしてこの趣旨に賛同いただいた多くの企業や団体のご協力により、毎年日本全国で公演を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響にともない、昨年度は活動が休止となりましたが、今年度は動画配信という新しい形で再開しました。6年生の児童たちは、本校の視聴覚室で大型スクリーンを通してミュージカル「はじまりの樹の神話」を鑑賞しました。素晴らしい演技や舞台装置にとっても感動していました。実際に、劇場を訪れ本物のミュージカルを鑑賞してみたいという気持ちも高まりました。



楠橋市民センター訪問

12月1日(水)に2年生が、生活科の「町探検」の学習で楠橋市民センターを訪問しました。市民センターでは、会議室や調理室、和室などを見学し、その活用の仕方や目的を学びました。また、講堂では高齢者の方の体操教室を見学させていただきだけでなく、一緒に体操を体験させていただきました。大変楽しく有意義な学習となりました。市民センターの館長をはじめ職員の皆様、地域の方々には大変お世話になり、感謝を申し上げます。

